

## Food and Environment Research Center

食・環境・健康の研究および情報の発信拠点として、  
地域企業と連携して、食品分野（成分分析、機能性評価、安全性評価等）や  
環境分野（環境分析、リスク評価、環境負荷の低減化等）の研究を強力に推進します。



## 【構成メンバー】

センター長  
若林 敬二

✉ kwakabayashi@u-shizuoka-ken.ac.jp  
☎ 054-264-5784  
http://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/fec/

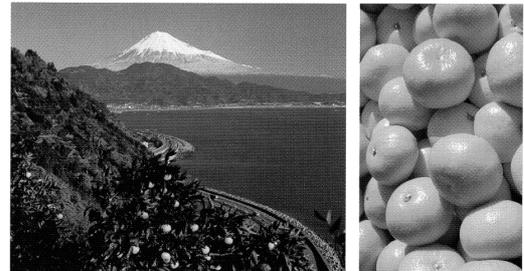
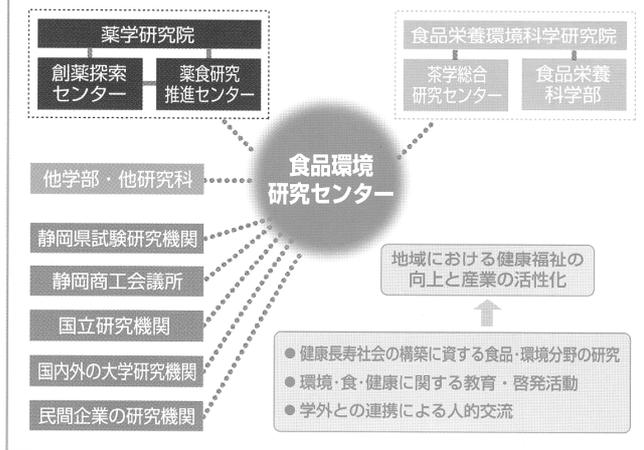


副センター長  
熊澤 茂則

センター研究員  
小林 裕和、坂田 昌弘、谷 晃 他

2014年4月、大学院食品栄養環境科学研究所の附置施設として、食品環境研究センターを開設しました。本センターは、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進を目指して、「食と健康」や「環境と健康」に関連した研究とともに地域の人達への教育・啓発活動などを行います。

## 食品環境研究センターの連携体制



- 静岡県民の健康寿命は全国で総合第1位です。
- 静岡県の農林水産物は439種類と極めて豊富であり、食材王国です。
- 食品産業製造品の出荷額全国第1位です。
- 食は睡眠、運動、社会参加とともに健康長寿に大きく貢献しています。
- 食料の確保には、「人を育む食」、「食を育む環境」、「環境を育む人」の好循環が必要です。
- 本センターは、食品、栄養、環境に関する研究、教育を通して、健康長寿社会の構築に貢献します。

## 研究の柱

## 1. 食品および環境に係わる研究の推進

食品分野：成分分析、機能性評価、安全性評価等

環境分野：環境分析、リスク評価、環境負荷の低減化、環境の保全方法等

## 2. 教育と啓発活動

食品および環境が健康に与える影響についての情報収集と提供

公開講座、食育および環境教育に関するワークショップの開催等



ワサビの花

平成 26 年度 食品環境研究センター事業  
**第 3 回 静岡食品環境フォーラム**

日 時： 12 月 19 日（金）13：00 ～ 19：00

場 所： 静岡県立大学 小講堂および学生ホール

- 口頭発表 13：00 ～ 16：00 小講堂
- ポスター発表 16：30 ～ 17：30 学生ホール
- 懇親会 17：40 ～ 19：00 学生ホール 会費 1,000 円（学生：無料）

◆◆◆ プログラム ◆◆◆

13：00 – 16：00 〈 小講堂 〉

司会： 若林敬二（静岡県立大学 食品環境研究センター センター長）

挨拶 木苗直秀（静岡県立大学学長）

深谷幸久（静岡県経済産業部振興局長）

13：10—

口頭発表

発表時間 20 分（発表 15 分、討論 5 分）

座長： 田中伸佳（静岡県経済産業部 振興局 研究調整課 主幹） 口演 1～5

小林裕和（静岡県立大学 食品栄養環境科学研究院長） 口演 6～8

1. 小杉 徹（静岡県農林技術研究所 茶業研究センター）  
「静岡の茶草場農法」の世界農業遺産認定及び茶草の肥料成分特性
2. 松井 繁幸（静岡県畜産技術研究所 中小家畜研究センター）  
遺伝育種による機能性鶏卵生産の検討
3. 小泉 鏡子（静岡県水産技術研究所）  
低・未利用魚から美味しいエキスを取る方法！
4. 櫻川 智史（静岡県工業技術研究所）  
飲料残さの資源化による地域ゼロエミッションシステムの開発
5. 神谷 貴文（静岡県環境衛生科学研究所）  
静岡県における外来不快害虫ヤンバルトサカヤスデの生息状況
6. 平山 朋（静岡県健康福祉部健康増進課）  
56 万人の特定健診データの分析からみる静岡県の健康課題と今後の取組
7. 雨谷 敬史（静岡県立大学 食品栄養環境科学研究院）  
室内環境中の未規制物質の網羅的解析に関する研究
8. 細谷 孝博（静岡県立大学 食品栄養環境科学研究院）  
NMR を用いた多変量解析による食品成分の分析

16：30 – 17：30 〈 学生ホール 〉

ポスター発表

17：40 – 19：00 〈 学生ホール 〉

懇親会

挨拶： 各研究機関関係者

19:00 閉会予定